

平成28年度コミュニティパーク事業
応募団体・内容（要旨）

応募団体		ロイヤルヒルズ東生駒自治会（76世帯）	
公園名称		山崎第1公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	346.18㎡
		公園種別	街区公園
		公園開設	平成3年4月2日
		環境・地形・特徴	安養寺の南側斜面に開発された中層集合住宅の一角に開設した公園。
	①地域の連携	地域団体	山崎第1公園
		ワークショップ参加予定人数	15名
	②公園の課題解決	公園の概要・問題点	<p>利用者はごく一部の子どもに限られ、リピーターはほとんどおらず、公園として期待される地域コミュニティの創設機能が果たされていない。その原因として</p> <p>1) 狭い公園に唯一ある遊具（公園中央の汽車）が老朽化により劣化し、定期的な清掃も行われていないためクモの巣だらけとなっており、子どもが遊具として魅力を感じられない状況であること。</p> <p>2) 公園地面の全体が舗装されているが、老朽化によりデコボコ・ザラザラしており、転倒すると怪我につながりやすく、子育て層が安心して子どもを遊ばせることができない状況であること。</p> <p>3) 公園周囲に大きな立ち木があり、電灯があるにもかかわらず視界が悪く、防犯上も危険であること。</p> <p>4) ベンチはあるが、点々と配置され、年配層や子育て層が子どもの遊ぶ状況を見ながらゆっくり井戸端会議等で意思疎通を図ることが困難な状況であること。</p> <p>が挙げられる。</p>
		地域の皆さんの公園との関わり	<p>地域としてはロイヤルヒルズ東生駒自治会が中心となり、市の援助を受けて年2回の定期清掃を行ってきたが、あくまで草刈り・清掃程度であり、上記問題点は自治会住民のみで解決することが困難であるため、「最低限必要な管理はやるけど、これ以上はしようもないので行政にまかせるしかない」と考え、積極的な公園の活用改善を行ってこなかったという状況である。</p>
	③公園の育成	公園の施設などに対する希望	<p>ロイヤルヒルズ東生駒自治会は設立20年を経過し、自治会員が高齢化している状況ではあるが、設立当初の子ども層が子育て層となってロイヤルヒルズ東生駒に再び入居し、自治会会員として帰ってくることも多く、現在は比較的活力あふれる時期になっている。</p> <p>このような中、山崎第1公園を年配層・子育て層・子ども層の3世代が意思疎通を図れるような、「3世代の豊かな交流の場を創設する公園」にしたいと考えている。</p> <p>具体的には</p> <p>1) 撤去を含めた遊具の抜本的改革</p> <p>2) 公園舗装面・立ち木の整備</p> <p>3) 年配層や子育て層の井戸端会議できる環境の整備を希望します。</p>
		公園の育成管理についての考え	<p>これまでロイヤルヒルズ東生駒自治会としては公園の最低限の管理のみ行ってきたため、コミュニティパーク事業に選定された際には、自治会員によるボランティアグループを新たに設立し、公園の日常的な維持管理を行うとともに、夏祭り・新年会等の定期的なイベントを自治会と協力して開催することにより、公園の利活用の活性化に努めていきたい。</p> <p>山崎第1公園は一部ではあるがロイヤルヒルズ東生駒自治会員以外の近隣の住民の利用も見受けられるため、公園は自治会だけのものではなく、利用者全員が利益を享受できる財産であるという考えのもと、ワークショップの開催に際しては、オブザーバーとして当自治会員以外の利用者の声を可能な限り聞き取る機会を求めようと検討している。</p> <p>なお、今回の応募に際して、自治会役員会及び子ども会において協議を重ね、最終的に7月31日の自治会総会にて自治会員の賛成を得るべく準備中である。</p>
備考			

■審査のポイント

- ①地域連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できるか。
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲があるか。
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲があるか。

平成28年度コミュニティパーク事業
応募団体・内容（要旨）

応募団体		真弓1丁目自治会（272世帯）	
公園名称		真弓1丁目公園	
公園概況	公園面積	2,051.84㎡	
	公園種別	街区公園	
	公園開設	昭和52年2月2日	
	環境・地形・特徴	真弓住宅地の中にあり、四方を道路に囲まれている。広場と遊戯広場に高さの変化をつけてある。	
①地域の連携	地域団体	真弓1丁目自治会	
	ワークショップ参加 予定人数	70名 自治会、真寿美会（老人会）、子ども会、未就学児童と保護者の会、真弓1丁目見守り隊（平成27年度生駒憲章実践推進者団体表彰グループ）、公園周辺住民の美化支援ボランティア会、等	
②公園の課題解決	公園の概要・問題点	1) 樹木や高低の段差で、周辺道路から中が見えにくく閉鎖的な感じで入りづらい。故に、防犯上も好ましくない。 2) 公園北側と南側に1.5mほどの段差があり、隔離された感じで使い勝手が悪い。 3) 公園自体の魅力が乏しく、また公園を活用する仕組みが作られていない。従って、利用する人が少なく、せっかくの素晴らしい財産が生かされていない。 4) 利用状況が少ないために雑草を踏み荒らすことが少なく、雑草が生え進むために、さらに利用が少なくなる状況にある。	
	地域の皆さんの 公園との関わり	1) 時々、幼児と保護者が遊具で遊んだり、児童がボール遊びをしたり、藤棚の下で家族づれが談笑する姿を見かけるが、利用状況は少ない。 2) 自治会が年2回の草刈と年2回の清掃を業者委託している他、自治会役員で毎月1回のゴミ拾いをしているのでゴミは比較的少ないが、草刈りは夏場にもう1回程度したいが予算がない。 3) 落ち葉がひどく、周辺道路の落ち葉清掃を周辺住民の美化活動に頼っている。 4) 真弓1丁目見守り隊が花壇を育成、年2回の植替えと水やりを適宜している為、四季を通じて花があり美化に貢献、又、砂場の衛生管理も適宜している。 5) 春の気候の良い時、町内の真弓小学校低学年の校外学習の場になっている。	
③公園の育成	公園の施設などに対する希望	4年前・2年前と過去2回の応募落選、今回で3回目となる為、前にも増して熱心で多岐な要望が出ているが、具体的な要望は今後のワークショップを通じて、まとめ上げていくとして、ここは要望の概要（一部具体的提案を含む）を述べる。 1) 子ども達が楽しめる複数の遊具。 （構内段差・斜面を利用したターザンロープやすべり台的人工芝スロープ等も考慮） 南側半分は、現状のミニグラウンドを活用出来る施設や休息ベンチなど。 2) 家族づれや子ども年寄りが、休息・雨よけ・日除け出来る東屋か東屋風のもの。 （防犯上周囲は開放、明るさが保てる熱線・紫外線遮断式ポリカーボネート屋根等） 同様の観点から、熱線・紫外線除け片屋根付き背もたれ付きベンチの点在設置。 3) 四季の花が楽しめる樹木（モクレン・花みずき・百日紅・金木犀など）と落ち葉の少ない常緑樹に入れ替え。四季の花の花壇は継続拡充する。 4) 公園内周辺はネットフェンスや生垣があり除草がやりにくい為、防草シートや雑草の生えにくい三和土（タタキ）などで防草を図る。 5) 公園の出入り口や南北の高低差には階段を無くし、ベビーカー・子ども・お年寄りに優しいスロープ・遊歩道とし、適宜手摺を設ける。	
	公園の育成管理についての考え	以前の当選自治会では、公園を綺麗に・草刈り等を自主的にやり出したとの事で、リニューアルし甲斐のある公園と評価を頂いているケースもあるが、当自治会では既存グループのボランティア活動にて、比較的良好な美化環境にある反面、高低差のある使い勝手の悪さや夏場・夏休みの雑草の生育、日除けや背もたれ付きベンチが無い等、子ども・家族連れやお年寄りが頼りない遊びにくい環境でした。 これを改善すべく今年3月の自治会総会にて「コミュニティパーク事業応募・推進」を決議、専任の推進者を決め、地域のボランティアグループと「多世代が交流し・遊び・憩う場」をテーマに環境改善のディスカッションを重ねてきました。 リニューアルした後は、自治会を中心とした地域ボランティアグループの、今より更なる活発な活動により、使い勝手の良い、雑草が少なくメンテナンスのし易い、防犯の面も合わせた良好な環境を図り、日除け・雨よけの出来る屋根付き背もたれ付ベンチや東屋（風も含む）なども含め、「多世代が交流し・遊び・憩う場」となるよう維持管理していく所存であります。	
備考			

■審査のポイント

- ①地域連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できるか。
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲があるか。
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲があるか。

平成28年度コミュニティパーク事業
応募団体・内容（要旨）

応募団体		桜ヶ丘自治会（271世帯）	
公園名称		桜ヶ丘公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	816.90㎡
		公園種別	街区公園
		公園開設	昭和57年3月30日
		環境・地形・特徴	南側は市道に接し、南東側は桜ヶ丘小学校に接している。一般的遊具を有する公園である。
	①地域の連携	地域団体	桜ヶ丘自治会
		ワークショップ参加 予定人数	15名 桜寿会(老人会)・婦人会・子ども会
	②公園の課題解決	公園の概要・問題点	1) 桜寿会、婦人会等有志による早朝ラジオ体操 2) 午後の幼稚園児帰宅前のおあそび 3) 年間をとうし園児、児童の利用が多い
		地域の皆さんの 公園との関わり	1) 4月の桜、花見の会 2) 7月夏祭り(夜店等のアトラクション) 3) 年4回公園清掃(自治会14班の持ち回り)
	③公園の育成	公園の施設など に対する希望	1) 公園内の桜が老木化していき、これから先桜ヶ丘の町名にそぐわない公園となるのではと危惧する次第であり、公園内に桜の植樹をお願いしたい
		公園の育成管理に ついての考え	1) 公園内の状況、環境がどんどん緑がなくなるなか、桜の木の植樹をふくめ、木の温もりのある町づくり。 桜寿会、婦人会等ボランティアによる維持管理
備考			

■審査のポイント

- ①地域の連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できるか。
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲があるか。
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲があるか。

平成28年度コミュニティパーク事業
応募団体・内容（要旨）

応募団体		みなみ野台自治会（206世帯）	
公園名称		小瀬第2公園	
応募内容の要約	公園概況	公園面積	647.73㎡
		公園種別	街区公園
		公園開設	昭和63年10月17日（供用告示日）
		環境・地形・特徴	みなみの台住宅地の中にあり四方を道路に囲まれており、一般的遊具を有する公園。
	①地域の連携	地域団体	みなみ野台自治会
		ワークショップ参加 予定人数	5名 みなみ野台自治会 老人会
	②公園の課題解決	公園の概要・問題点	既設の第2公園には砂場やすべり台などがあり、幼児の利用は毎日のようにあるが、南側の旧コミア用地であったところが未整備のままでは利用できない状態である。
		地域の皆さんの 公園との関わり	未整備地も含め公園全体を自治会・老人会・個人ボランティアなど年2回の清掃日を設け、かつ、日常的に部分的清掃を行っている。
	③公園の育成	公園の施設などに対する希望	既設部分を幼年者利用の場とすれば新規部分においては老年者の利用を中心とすれば、幼・老一体の公園となり大きなコミュニティの場となると期待するもの。（別紙参照）
		公園の育成管理についての考え	公園デビューの場から介護予防も図れる公園となれば公園に対する思いも強くなり意識も高まると思う。今以上の自主的管理は必要となるが充分対応できるもの。
備考			

■審査のポイント

- ①地域の連携…自治会を中心に、地域の方々が連携してワークショップに参加できるか。
- ②公園の課題解決…既存公園の課題をふまえ、課題解決に取り組む意欲があるか。
- ③公園の育成…公園をより良く利用し、管理等にも積極的に取り組む意欲があるか。